

注意報第1号

各関係機関団体の長  
各病虫害防除員  
農業資材販売等関係者  
} 殿

福岡県病虫害防除所長

平成21年度病虫害発生予察注意報第1号について

このことについて、病虫害発生予察注意報第1号を発表したので送付します。  
少雨傾向が続いており、カンザワハダニの発生量が急増しています。現地における発生状況の把握に努め、防除の徹底を指導願います。

茶

- 1 病虫害名：カンザワハダニ
- 2 発生地域：県下全域
- 3 発生量：平年・前年より多い
- 4 注意報の根拠
  - (1) 6月2半旬の調査で、寄生葉率17.6%、50葉当たり寄生虫数33.3頭、発生ほ場率75.0%と平年・前年より各々多く、本種の発生量が急増している(表、図1、図2、図3参照)。
  - (2) 少雨傾向が続き、カンザワハダニの増殖に好適な状態が続いている。福岡管区気象台6月5日付け発表の向こう1か月の気象予報でも、降水量は平年より少ないと予想されている。

表 カンザワハダニの発生状況(6月2半旬)

	寄生葉率(%)	50葉当寄生虫数(頭)	発生ほ場率(%)
本年	17.6	33.3	75.0
前年	0.9	0.6	14.3
平年	8.0	30.5	40.1

- 5 防除上注意すべき事項
  - (1) 発生状況をよく観察し、50葉当たり寄生葉率が2%以上である場合は早急に防除を行う。  
二番茶の摘採時期をむかえている茶園は、摘採後に防除する。
  - (2) 薬剤は、寄生の多い葉裏にも十分かかるよう丁寧に散布する。
  - (3) 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を避け、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。
  - (4) 農薬散布の際は使用基準を遵守するとともに、近隣ほ場への飛散防止対策を講じる。

